

企画総務グループ打合せ（平成23年度 第5回）議事録

- ・日 時：平成24年1月26日(木) 15:00～17:00
- ・場 所：JGS会館3階中会議室
- ・出席者：菊池、佐藤、高橋、桑野、関、竹山、荒木、青木(事務局)
- ・欠席者：阿部、野島

1. 前回議事録等の確認

H23.11.24 第4回企画総務グループ幹事会議事録(案) 【別紙-1】

H23.12.2 第4回運営委員会議事録(案) 【別紙-2】

→確認した。

2. 最近のスケジュール

第5回運営委員会：平成24年2月8日(水)

第2回評議員会：平成24年2月23日(木)

→安田先生に浦安の話をしてもらう(これまでの取り組み、今後の方向性など)。

だめなら他の方を推薦いただく(メール審議後、依頼)。

→支部総会については、東武の方にスカイツリーの話をしてもらう(メール審議後、依頼)。

3. 支部長特命事項対応他、運営管理上の報告・協議

(1) 第4期代議員の推薦について

【別紙-3】

→確認した。

(2) 「地盤工学会誌」優秀賞2次選考委員の選任について

【別紙-4】

→三枝様(東亜建設工業)、石井様(木更津高専)をお願いすることを確認した。

(3) 地盤工学会名誉会員候補者の推薦依頼について

【別紙-5】

→内山勝麗様(元神奈川県工業試験所)を推薦することを確認した。

(4) 地盤工学会功労章候補者の推薦依頼について

【別紙-6】

→平山光信様(アサノ大成基礎)、柴田英明様(国士舘大学)を推薦することを確認した。

(5) 外国人名誉会員推挙候補者の選任依頼について

【別紙-7】

→Mike Pender(ニュージーランド、カンタベリー大学)を推薦することを確認した。

(6) 浦安市建築指導課個人住宅相談に関する専門家派遣要請

【別紙-8】

→浦安液状化対策検討委員会で、安田委員長を中心に対応することを確認した。

→浦安市建築指導課のアドバイザーとして参加するので、責任の所在を明確にしておくのがよい。

(7) 支部表彰規定について

【別紙-9】

→推薦者は、支部会員に限る(被推薦者は、非会員も可)。本部と調整しながら実施する。

→関東支部10周年に向けて、進めていく。

→授賞が決まった方が非会員の場合は、会員になっていただけるよう、強く勧める。

→技術賞の対象は、誰が対象なのかわかるよう、例を推薦応募要領に示したほうがよい。

(8) 平成24年度支部「事業計画案・正味財産増減予算案」ご提出についてのお願い

【別紙-10】

→来年度の本部交付金の見込みは、今年度実績並み。

(9) 10周年記念事業の準備について

【別紙-11】

→積立金を平成24年度から取り崩し始める(来年度は準備金として60万円)。

これについても予算立てする必要がある。

→県G、会員サービスG、企画総務Gから人を出して別組織を立ち上げ、

平成25年度ははじめから、企画を進めることが出来るよう、今年度準備していく必要がある。

→当初の活動内容(企画案)にとらわれず、企画を考える必要がある。子供・一般市民向けの催しをするためには、広報が重要である(市の広報誌などに載せてもらえるとよいが、容易ではなく、実績が必要か)。絵画コンクールのときは、絵画教室、小学校等に声をかけた。

→一般の人が見ることが出来ない施設(廃棄物処分場など)の見学ツアー等も考えられる

(バスのチャーター代等、普段実施することができない企画)。

(10) H23年度予算執行状況(12月末現在)

【別紙-12】

→収益は、ほぼ予算通り。支出については、調査研究・基準事業費(公2)の執行率は12月末までで

50%, 全体では60%弱。当初は約420万円の赤字の予定であったが、約460万円の黒字になっている。
→研究助成をするということも考えられる。

(11) 企画総務G次年度事業計画、予算について

【別紙-13】

→今年度で任期満了は、佐藤副幹事長（後任は川崎地質の方）、桑野幹事（他大学（同年代より少し下）の方を推薦）、関幹事（ゼネコン他社（出来れば建築）の方を推薦）。総会までには新体制を決めたいので、3月中に内諾を受けて推薦いただきたい。公募も行う（会員サービスGと合わせて）。

→工法協会費は、公2から公3へ移動（技術交流に関係しているため）。

4. 開催結果、進捗状況の報告

(1) 第7回地盤工学会栃木県グループ講習会

地盤を学ぶ「地震時における地盤災害の課題と対策」開催のご案内

【別紙-14】

(2) 「防災・減災のための地盤構造物の設計・施工法に関するシンポジウム」のご案内

【別紙-15】

(3) 平成24年度新設研究委員会「活動テーマ案の募集

【別紙-16】

(4) 第4回工法協会交流会

「液化化対策工法を対象とした工法協会交流会（その1）」開催のご案内

【別紙-17】

→荒木幹事から報告があった。参加者は、正会員：48名（ゼネコン、住宅メーカーで、6～7割）、非会員：6名、協会関係者：22名。

→その1では、各協会からの参加者が多かったため、次回から、各協会2名まで参加無料とする。

→パワーブレンダー協会が会員になってくださった。

(5) 「土壌・地下水汚染の調査・予測・対策に関する勉強会」のご案内

【別紙-18】

(6) 若手交流会行事報告

【別紙-19】

→学部生を中心に、約20名の参加。参加者の評価は概ね高い。

ただし、卒業後に地盤工学会に入りたいと思う人は半数に留まった。

(7) 出前講座対応状況

日時 平成23年11月30日

出前先 千葉県立市川東高等学校

講演内容 液化化（講義と実験）

講師 埼玉大学 教授 桑野 二郎 先生

→桑野幹事から報告があった。参加者は、地学選択の21名+教員3名。

実験の工夫、生徒の反応について説明があった。概ね好印象。

日時 平成24年1月26日（木）※翌日は施設見学

会場 波止場会館（県庁すぐそば）

講演時間 14時頃から1時間

希望する講演内容 軟弱地盤掘削における土留め工法と補助工法 等

講師 大成建設(株) 横浜支店 土木部技術室室長 小林 敏彦 様

(8) ニューズレターNo. 25 発行 (H23.12.13)

5. その他

(1) 退会届 (株)アサノ建工 H23.11 4級 合併のため((株)アサノ大成基礎エンジニアリング)

(2) 次回予定 第6回幹事会 平成24年 3月15日（木） 15:00～17:00

場所は、深田地質の可能性大。

以上